

平成29年度 単位互換科目・共同開講科目一覧

福岡市西部地区五大学連携 単位互換科目・共同開講科目 連絡窓口

大学名	No.	窓口	電話番号
九州大学	No.1～No.26(26)	学務部学務企画課 企画調査係	092-802-5927, 5928
西南学院大学	No.27～No.68(42)	教務部教務課	092-823-3273
中村学園大学	No.69～No.79(11)	教務部	092-851-6742
福岡歯科大学	No.80～No.81(2)	学務課教務係	092-801-0411
福岡大学	No.82～No.97(16)	教務部教務課	092-871-6631

()は各大学の開講科目数を示す。

共同開講科目数 1 科目
単位互換科目数 97 科目

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
1	九州大学	基幹教育院 水産実験所(津屋崎)	水圏生態環境学入門	吉国通庸・鬼倉徳雄	野外における講義と実習を通して、人間活動と希少な野生生物とのかかわりについて学びます。本プログラムでは、陸水(河川と農業用水路)での生物採集を通して、それを学びます。	学部1、2年生	3泊4日の宿泊が可能なこと。野外での生物採集等の活動が可能なおこと。安全に関する意識が高いこと。	3～5人	2	集中* (夏季休業中の3泊4日、 8/21-8/24を予定)	6月9日	8月21日 予定	期末試験は実施しない。
2		基幹教育院 農学部附属農場	体験的農業生産学入門	望月 俊宏	本授業では、作物(イネや園芸作物)や家畜(牛やニワトリ)などを対象に農業生産の実験を体験すると共に、その基盤となる理論、農業生産と環境との関係や食物の安全性などについて学習し、社会における知識の役割を学ぶ。実習作業における創意工夫、対象作物や家畜への配慮、指導にあたる教職員や受講生相互の交流を通じ、実感としての知識を身につける。さらに、農業の持つ地域性と伝統や文化形成の関係について学習し、幅広く知識を身につけることの楽しさと重要性を学ぶ。夏休み期間中に農学部附属農場(福岡県糟屋郡粕屋町および篠栗町)において、2泊3日の宿泊集中実習・講義を実施する。	学部1、2年生	野外での実習に対応できる事	5人	1	後期 集中(終日) (9月20日～9月22日)	7月10日	9月20日	期末試験は実施しない。
3		基幹教育院 福岡演習林(篠栗)	森林科学入門 (里山林コース)	○榎木 勉 大槻恭一 片山歩美	森林での観察や観測など実体験を通じて得られた情報をもとにグループ間で議論することで森林科学の基礎を学ぶとともに、課題設定-解決-評価のプロセスから科学的思考の訓練を行います。本コースでは、福岡市近郊の里山林を対象にします、比較的身近にある森林から様々なことを学ぶことができます。	1、2年生(学部は問いません)	森林での実習を厭わず進んで参加でき、自然や生物に関心のある学生現地集合ができる学生学生教育研究災害傷害保険(学研災)に加入のこと	3人程度	2	集中(3泊4日)	6月9日	8月22日～ 25日の4日間	なし
4		基幹教育院 宮崎演習林(椎葉)	森林科学入門 (山岳森林コース)	○菱 拓雄 田代直明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。山岳森林コースでは、宮崎演習林にて「山岳地の森林の成り立ちや構造」をテーマとします。			4人以内		集中(4泊5日)	6月9日	9月初旬 の5日間	
5		基幹教育院 北海道演習林(足寄)	森林科学入門 (北方林コース)	○智和正明	野外における講義・実習を通じて、人間や生物と環境との関わりについて学びます。北方林コースでは、北海道演習林や雌阿寒岳などで「十勝の多様な森林と土地利用」をテーマとします。			3人		集中(4泊5日)	6月9日	9月初旬 の5日間	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
6	九州大学	基幹教育院 伊都キャンパス	望遠鏡で見る宇宙環境	花田 俊也 鈴木 右文 中島 健介	本科目は、教室での座学ではなく、実際に天体望遠鏡(ペガサス天体観測室40cm反射望遠鏡)を覗いて、受講生の関心に応じて、惑星、小惑星、人工衛星などを観測することで、天文学や天体力学の基礎知識を身に付けることを目標とする授業である。観測結果は授業内で報告(プレゼンテーション)し、宇宙環境に関する知識の充実・深化を図る。特に数学等理系の素養は必須ではなく、文系学生の受講も歓迎する。	学部2年生以上	伊都キャンパスで実施する座学(3回)、中間報告会及び最終報告会に参加できること。 伊都キャンパスに所在するペガサス天体観測室で実施する天体観測実習に参加できること。	5人	2	集中講義(前期) 座学(4月12日、4月19日、4月26日) 中間報告会(6月14日) 最終報告会(7月26日) 水曜5限目 (16:40~18:10) 天体観測実習(受講者と相談の上決定する)	4月3日	4月12日	期末試験は実施しない。
7										集中講義(後期) 座学(10月11日、10月18日、10月25日) 中間報告会(12月6日) 最終報告会(1月31日) 水曜5限目 (16:40~18:10) 天体観測実習(受講者と相談の上決定する)	10月3日	10月11日	期末試験は実施しない。
8	九州大学	基幹教育院 病院キャンパス	未来を支える医系バイオベンチャー	杉山大介	将来の医療イノベーションを担うバイオベンチャーと、これに関連する諸分野の知識を習得することを目的とする。 観点1. バイオベンチャーの現状と関連する知識の理解 観点2. 知的財産に関する知識や用語の理解 観点3. 産学官連携に関する知識や意義についての理解 観点4. アントレプレナーに関する知識の理解	全学生	特になし	10人	1	集中(前期後半を予定)	未定	未定	期末試験は実施しない。原則、出欠状況で評価する。教員が認めた場合は、レポートを課することがある
9	九州大学	歯学府 馬出キャンパス	硬組織研究法	久木田 敏夫	硬組織の形成や再建・再生に関する研究を行うためには、組織学・解剖学・発生学という形態学の知識はもちろんのこと、免疫学、分子生物学、細胞生物学、血液学等の幅広い知識や生体イメージング等、関連する技術開発についての理解も必要である。本講義は骨代謝研究や再生医学研究、及び関連する技術開発領域の第1線で活躍している著名な研究者による特別講義で構成されている。本講義は、歯学研究に於いても重要な意味を有する「骨代謝・硬組織再生研究」に関する最先端の情報を提供することを目的とする。それぞれの研究が様々な方法論を駆使して行なわれていることを学ぶことにより、硬組織研究を遂行する為の基本的な研究能力の開発に繋がるものと考えられる。また、本講義を受講する事により、硬組織研究に限らず、将来、広くライフサイエンス研究の第一線で活躍することのできる潜在的な能力を身につけることができる。	大学院生	特に定めない	特に定めない	3	集中	5月中旬	6月 詳細未定	試験は実施しない
10	九州大学	農学部 水産実験所(津屋崎)	アクアフィールド科学実習	吉国通庸・鬼倉徳雄	野外での生物採集と実験室内での種同定作業を通して、海洋構造と生物多様性との関連性を学ぶ。干潟、河口域、砂浜域、浅海域の生物相の相違や特徴を理解するとともに、魚類、甲殻類等の分類学基礎を押さえる。	学部3~4年生	3泊4日の宿泊が可能なこと。野外での生物採集等の活動が可能なこと。安全に関する意識が高いこと	3~5人	1	集中* (夏季休業中の3泊4日、9/4-7を予定)	6月30日	9月4日予定	期末試験は実施しない。レポートあり。
11	九州大学	文学部 箱崎文系地区	人文学 I	森平雅彦 宮本一夫 佐伯弘次 中島栄章 高木彰彦 静永健 井手誠之輔 岩崎義則 南澤良彦 下地理則 高山倫明 久保智之	現代社会では地球規模のグローバル化が進み、人びとの活動範囲を規定してきた国家や人種・民族といった枠組みが相対化される一方、異なる文化・価値観をもつ人間どうしの摩擦もめだってきている。日本もまた過去の歴史に対する認識、国家間の権益対立、国境をこえたヒト・モノ・情報の動きをめぐり、身近な周辺地域との間でさまざまな課題をかかえている。わたしたちはいまあらためて、身近な「他者」について知り、「他者」との関係性のなかでの「自己」の位置をみつめなおすべき段階にきている。 この授業では、日本とその身近な周辺地域をあわせた空間を便宜的に「東アジア」とよぶが、その見方は視点・論点のとりかた次第でいかようにも変わってくる。しかし大切なのは、そのような見方の多様性を認識し、みずからも必要に応じて自由自在にさまざまな視点へシフトして物事を考える能力・姿勢である。このように柔軟で複眼的な「東アジア」へのアプローチは、アジアに開かれた九州大学の人文学において、主要な柱のひとつとなるものである。	学部2~4年	なし	10人	2	後期毎週水曜2限 (10:30~12:00)	10月11日	10月11日	期末試験は実施しない。(レポート提出有り)
12	九州大学	文学部 箱崎文系地区	人文学 II	片岡啓 円谷裕二 後小路雅弘 清水和裕 京谷啓徳 辻田淳一郎 今井宏昌 静永健 鶴飼信光 高野泰志 今里悟之 小黒康正 山下亜紀子 飯嶋秀治	生まれ、そして、死ぬ。外から見れば、一つの生命が誕生し、そしていずれ死にゆく、それだけの問題なのかもしれません。冷めた視線で見ればそうでしょう。しかし「生と死」は、そのような客観的な対象として問題なのでしょう。時に「生と死」は、一人一人が孤独の中で対面する、逃げられない問題として襲いかかってくることがあります。「生老病死」「生死事大」、古今の聖賢が主体的にこの問題に取り組み、様々な見方を我々に残してくれています。文学部の教員は、この普遍的でも個人的なテーマにどう答えるのでしょうか。哲学者は何を問い、何を答えるのでしょうか。文学において「生と死」はどのように提示されてきたのでしょうか。宗教はこの悩みを果たして解決してくれるのでしょうか。そして美術は「生と死」をどのように具象化してきたのでしょうか。文学部の哲学コース、歴史学コース、文学コース、人間科学コースから選りすぐられた精鋭講師陣がガイドとなって世界の時空を皆さんとともに巡ります。	学部2~4年	なし	10人	2	後期毎週水曜2限 (10:30~12:00)	10月11日	10月11日	期末試験は実施しない。(レポート提出有り)

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
13	九州大学	芸術工学部 大橋キャンパス	構法設計論	○井上朝雄 松村秀一 小見康夫 腰原幹雄 石山央樹 (未定) 西原 守	建築物の構成方法について学ぶ(応用編)	学部3年以上	建築の基礎的な知識があること	特になし	2	前期集中講義 土曜日に複数回に分けて開講	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。
14		芸術工学部 大橋キャンパス	環境総合プロジェクト	○田上健一 鶴飼哲矢 大井尚行 井上朝雄 包清博之 朝廣和夫 (未定) 土居義岳	福岡・九州・アジアが抱えているさまざまな課題に、海外の学生や留学生と協同として取り組み、チーム作業を通して解決策を導きだし、これからの次代の「環境設計」を提案する。	学部4年	建築・都市・ランドスケープデザインの専門的な知識と技術があること。また、海外の学生と意思疎通をはかれる語学力があることが望ましい。	特になし	4	前期水曜3~5限	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。講評会での発表によって成績をつける。
15		芸術工学部 大橋キャンパス	建築生産	○井上朝雄 松村秀一 遠藤和義 秋山哲一 浦江 真人 角田 誠	建築を生産するシステムについて学ぶ(入門編)	学部3年以上	建築の基礎的な知識があること	特になし	2	後期集中講義 土曜日に複数回に分けて開講	9月18日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。レポートによって成績をつける。
16		芸術工学部 大橋キャンパス	ソフトウェアアーキテクチャ	高木英行	ウォーターフォールモデルを例に、ユーザ要求仕様、システム設計、ソフトウェア設計、レビュー、コーディング、単体/結合テスト等のソフトウェア開発の流れと各工程の手法とソフトウェア品質の重要性を理解する。	学部2年生以上	<ul style="list-style-type: none"> ■プログラミングを行うわけではないが、C言語を例に解説することが多いので、「プログラミング言語」関係の授業で事前にC言語をよく履修しておくことが望ましい。 ■3人チームで演習をし、期末レポートを作成するので、途中で履修放棄する可能性のある学生は履修しないこと。 	5人程度	2	後期冬学期月曜2、3限 10:30~14:30 *時間割変更の可能性あり	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	12月4日	2月上旬予定
17		芸術工学部 大橋キャンパス	グローバル・アーキテクト・プロジェクト	○井上朝雄 田上健一 岩元真明	グローバル化を背景として、国・地域を越えた環境設計の新しいあり方が問われている。このような状況に対応する知識とスキルを、演習を通じて実践的に習得する。主に、海外の敷地を対象とした演習課題を行う。	修士課程	建築・都市・ランドスケープデザインの専門的な知識と技術があること。また、海外の学生と意思疎通をはかれる語学力があることが望ましい。	特になし	4	集中講義 詳細はシラバスを参照のこと	4月2日	未定(詳細は九州大学芸術工学部学務課教務係に確認すること)	期末試験は実施しない。講評会での発表によって成績をつける。
18		地球社会統合科学府 伊都キャンパス	地球社会フィールド調査法	オムニバス形式	調査計画の立案と実施方法、資料(史料、試料)・文献収集、実験・社会調査データ収集、調査研究上の倫理、調査結果の社会的還元方法、リスクマネジメントなど、様々なフィールドで調査するための基本を講義する。	学部3,4年生、 修士課程学生	無し	10人	1	夏学期(6/8~8/10) 毎週水曜日 4限目(14:50-16:20) 又は 冬学期(12/4~2/20) 毎週水曜日 4限目(14:50-16:20)	5月31日 又は 11月30日	6月8日 又は 12月4日	出席とレポートにより評価する。
19		QREC 伊都キャンパス	アントレプレナーシップ入門 (前期)	五十嵐 伸吾 熊野 正樹	アントレプレナーシップの基礎を学ぶ。アントレプレナーシップとは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として活用することである(Drucker,1993)。起業機会を発見あるいは創造し、それを創造性に富むアイデアで翻訳あるいは拡充強化することで具体化していくプロセスである。本講義では、このプロセスに沿いながら、起業機会の発見やアイデア創出、具体化の方法論の基礎を学ぶ。講義では必要な知識の伝達に加えて、ワークショップやグループワーク等を組み合わせた学生参加型の体験的な学習を重視する。	学部生のみ	特になし	20人程度	2	前期前半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	4月3日	4月12日	期末試験は実施しない

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
20	九州大学	QREC 伊都キャンパス	アイデア・ラボ I	五十嵐 伸吾	多くのアイデアの中から、精査、選択の過程を経て実際に実行できるものは1つだけ。そうであれば、最初に出来るだけ多くを創出できなければ成果は得られない。本講義では身近な材料を用いながら、発散的技法を使い短時間で多くのアイデアを創出した上で、収束手法により最適なアイデアを選択する演習を行う。アイデア創出をグループ単位で行うことで、より良い解決策を発案するために、どのようにグループを刺激し活性化するかグループ・ダイナミクスのスキル向上の機会を合わせて提供する。一部の講義ではゲストによる講義も計画している。	全学部・修士	「アントレプレナーシップ入門」を受講済みであることが望ましい	20人程度	2	前期後半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	4月3日	6月14日	期末試験は実施しない
21		QREC 伊都キャンパス	ニュービジネス・クリエーション	杉本 将隆	実際のアイデアフラッシュからビジネスシードを見出し、最終的に“勝てる”ビジネスプラン(事業計画)として結実させるまでのプロセスを習得する。履修者はアントレプレナーの視点から市場機会を分析し、コアコンピタンス(中核的競争優位)や顧客価値をどのように磨き上げるのか、顧客獲得や販路開拓をどのように実現するのか、競合に対する差別的優位性をどのように構築するのか、収益化できるビジネスモデルをどのように構築するのか等について、大手グローバルコンサルティングファームの現役コンサルタントによるライブ講義を積みながら、グループワークを通して体験的に事業創造手法について学ぶ。最後に、各グループによるビジネスプラン発表会を開催し、相互学習・創発の機会を提供する。	全学部・修士	特になし	5人程度	1	前期集中 (日)、6/25(日) 10:00-18:00	6/18 5月31日	6月18日	期末試験は実施しない
22		QREC 伊都キャンパス	アントレプレナーシップ入門 (後期)	高田 仁 松永 正樹	アントレプレナーシップの基礎を学ぶ。アントレプレナーシップとは「変化を探し、変化に対応し、変化を機会として活用する」ことである(Drucker,1993)。起業機会を発見あるいは創造し、それを創造性に富むアイデアで翻訳あるいは拡充強化することで具体化していくプロセスである。本講義では、このプロセスに沿いながら、起業機会の発見やアイデア創出、具体化の方法論の基礎を学ぶ。講義では必要な知識の伝達に加えて、ワークショップやグループワーク等を組み合わせた学生参加型の体験的な学習を重視する。	学部生のみ	特になし	20人程度	2	後期前半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	10月3日	10月11日	期末試験は実施しない
23		QREC 伊都キャンパス	Global Seminar(English)	五十嵐 伸吾	QREC invited Prof. Yamakawa from Babson College, U.S.A, which is ranked in the best entrepreneurship education program not only for undergrad students but also Business School students. Prof. Yamakawa's current research interests include: Learning from entrepreneurial failure, dilemmas inherent in corporate venturing activities, failure of industry emergence, and bankruptcy laws and entrepreneurship development around the world.	全学部・修士	本科目はすべて英語で行う。英語でのコミュニケーション能力は必須。(特に戦略論、マーケティング)を履修済であることが望ましい	5人程度	1	夏季集中	未定	未定	期末試験は実施しない
24		QREC 伊都キャンパス(遠隔 講義・大橋・病院キャン パス)	アントレプレナーシップ・セミナー	松永 正樹	普段キャンパスでは出会うことのできない各分野の第一人者を招き、公開セミナーを開催する。招聘の対象となるゲスト講師の選定・折衝、および、セミナーの内容策定は、学生有志で構成される運営委員会が担当講師のガイダンスのもとで行う。単に著名人を招いて御説拝聴するのではなく、講演参加者一人ひとりが積極的に議論に参加してインタラクティブなセミナーを実施する。起業にまつわるリアルなエピソードを当事者から直接聞くことによって、広義のアントレプレナーシップ・マインドにおける意識変容を喚起することを学習目標とする。	全学部・修士	特になし	5人程度	2	後期後半 毎週金曜5-6限目 (16:40~20:00)	10月3日	12月8日	期末試験は実施しない
25		QREC 伊都キャンパス	Technology Marketing Game (English)	松永 正樹	Students engage in various marketing-related activities, such as product development, channel exploration, pricing, and more, through an online business simulation game originated by INSEAD, France. Make sur eto read the requirements and contact the instrucotr (matsunaga@qrec.kyushu-u.ac.jp) in advance to the registration deadline to confirm that you meet all the requirements.	全学部・修士	For students not affiliated with Kyushu University to take this course, they must (1) apply in group of at least 4 members (to enable group-work activities integrated in the course), and (2) secure a physical space on their campus to take this course. In addition, the license fee (about 7,000-8,000 yen per person) will be charged.	4~8人	2	後期後半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	10月3日	12月6日	期末試験は実施しない
26	QREC 伊都キャンパス	テクノロジー・マーケティング・ゲーム	松永 正樹	世界屈指のMBAプログラム仏国INSEADで開発された経営シミュレーションゲームを用いて、製品の企画開発から販路選択、価格決定、広告戦略策定など、マーケティングに関わる実務を一気通貫で実践的に学ぶ。 右記履修条件をよく読み、履修希望者は履修登録期限より前に担当講師宛にメールで問い合わせすること(matsunaga@qrec.kyushu-u.ac.jp)。	全学部・修士	グループワークが必須となるため、九州大学以外の学生が履修を希望する場合には最低四名以上が同大学から参加すること、履修のための物理的スペース(教室等)を手配することを条件とする(このいずれかを満たせない場合には九州大学伊都キャンパスでの受講が履修条件となる)。また、ゲーム登録のために一人数千円程度のライセンス料がかかり、それは受講生の負担とする。	4~8人	2	前期後半 毎週水曜4-5限目 (14:50~18:10)	4月3日	6月14日	期末試験は実施しない	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
27	西南学院大学	-	新約神学C	須藤 伊知郎	<p>【授業の到達目標】</p> <p>新約神学は、予め伝統的な教義を前提とし旧新約聖書全体に矛盾のない統一的一个の神学を見出すのではなく、新約聖書独自の神学、さらに新約各文書に見られる多様な諸神学を明らかにしつつその中心的な使信を探究することを目的とする。各文書が成立した状況の中で伝承の担い手、また編集者がイエスの福音に促されて何をを選び取りどう行動したかということと歴史的、批判的に検討することを通じて、無時間的普遍的に妥当するいわゆる「真理」ではなく、個別的一回の状況の中へと語られた、受肉した神の言葉を追及する。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>本年度前期はF. ハーン『新約聖書神学1下』を教科書にして、共観福音書と使徒言行録、ヨハネ神学、その他を扱う予定。教科書と参考書を輪番で要約発表しクラス全体で討議する。</p>	3年次以上	特になし	3人	2	週1回 前期 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	4月11日	成績は、期末レポート、発表・討論への参加等で総合的に評価する。
28		-	英米文学・文化研究B(3)	加藤 洋介	<p>【授業の目標】</p> <p>英語は国際言語、グローバル言語として発展し、その使用圏を拡大した。拡大は今後もつづくだろうか。英語の拡大が作る未来はどのような世界か。日本語と英語の関係はどうなっていくのか。わたしたちはいまこれらの問題考えることを迫られているが、そのためにはまず過去、すなわち20世紀の英語教育史を知らなければならない。英語はどのように国際言語として発展したか。この講義はこの問いに答えることを目的とする。じつは英語教育史はグローバル化という曖昧な語で一般に考えられているほど単純でない。文学、歴史、政治学が複雑にかかわった歴史である。そこでこの講義は、(1)英語教育史にかんする知識と情報を与え、(2)学生が歴史的視点に立って同時代のグローバル化のあり方を考えられるように導く。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>講義は3部に分かれる。はじめに国際言語としての英語の発展を考えるための理論的枠組みを示したあと、英語教育における中心化の政治学を考える第1部に移行する。イギリス連邦とく精神の帝国の形成、辞書と規範文法、英語イデオロギー、英語試験といった話題について講義し、それぞれ文献を紹介しながら情報を提供する。第2部は、反英語帝国主義の流れを見る。とりあげる話題は社会言語学の台頭、英語の変種の容認、グキ・ワ・ジオンゴのポストコロニアリズム文学論である。第1部と第2部でそれぞれ英語教育における中心化の政治学と多様化の政治学を理解させた後、第3部で翻訳の問題をとりあげ、日本の英語教育をコンテクストとして論じる。最後に、学生に第1部と第2部の内容を比較し、自分の立場を決め、国際言語としての英語の発展の歴史を自分の視点でレポートにまとめることを求める。</p>	3年次以上	特になし	10人	2	週1回 後期 火曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	4月11日	成績は、講義参加とレポートによって評価する。
29		-	コミュニケーション概論A	清宮 徹	<p>【授業の到達目標、及び概要】</p> <p>コミュニケーションは私たちの身近な生活から政治、経済、社会にいたるまで、あらゆるコンテクスト(文脈・状況)の中に見つけることができる。国際化の波の中でその重要性は近年さらに高まり、いわば現代は、「コミュニケーションの時代」といえる。</p> <p>本講座では、幅広い受講対象者(社会科学系から文学系の学生)を視野に入れ、アメリカやヨーロッパで発展してきたコミュニケーションの基本的考え方(概念と理論)を平易に紹介することを目的とする。ここで学んだことは多様な人間関係、例えば友人・恋愛関係、家庭、ビジネス、法廷、国際関係、など幅広い領域で応用可能である。とくに、前期は異文化コミュニケーションに焦点を置く。グローバル化の中で、文化や価値観が異なる人々が交流する機会は増大し、教育やビジネスの国際化、国際結婚、国際関係上の対立など、多様で複雑な課題が広がっている。異文化コミュニケーションを学ぶことで、違いを尊重し、相互理解を推進するコミュニケーションを実践し、国際平和を目指した草の根の国際化を試みたい。</p> <p>そこで本講座は以下のように2部構成からなり、Interdisciplinaryなアプローチを試みる予定である。</p> <p>(1)コミュニケーション学の基礎: 対人(一対一)コミュニケーション。ジェンダーとコミュニケーション、平和とコミュニケーション。医療・介護組織のコミュニケーション。</p> <p>(2)異文化コミュニケーションの基本的概念。異文化の価値観、異文化間ギャップ、異文化における人間関係の発展、カルチャーショック、非言語。</p> <p>授業は全体として講義形式が中心となるが、積極的なディスカッションも多く取り入れ、みんなでもともに考える授業にしていきたい。そして、今まで自分たちが当然のこととして見過ごしてきた領域、これまで気にとめていなかったコミュニケーションの世界に、大学生としてもう一度目を向けてもらいたい。</p>	2年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 前期 木曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	4月13日	授業初日に発表

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
30	西南学院大学	-	コミュニケーション概論B	清宮 徹	【授業の到達目標、及び概要】 私たちの身近な日常生活から政治、経済、社会、国際関係にいたるまで、コミュニケーションはあらゆる場面で見つけることができる。コミュニケーションという言葉はこのようにいろいろなところで使われ重要視されているが、日ごろの社会生活や経営組織、ビジネスの領域においてコミュニケーション自身を注意深く探求することはなかった。 そこで本講座では、“コミュニケーション的視点”から人々の社会生活と組織、そして国際社会における常識(当たり前)を考察する。つまり、今まで常識としていたことがどのようにして形成されてきたか、社会的・文化的コンテクスト(文脈状況)の中で意味が形成・変化する点を明らかにしていく必要がある。常識の中で見落としていた何か、ゆがめられた何かがあるかもしれない。2011年3月11日に発生した震災以降、人々が疑わなかった当たり前が大きく崩れ、今あらためて人々がコミュニケーションを通じて作り上げる世界を考察しなくてはならない。受講対象者として幅広い学生(社会科学系から文学系まで)を視野に入れ、とくにヨーロッパで今最先端の言語的な視点をもとに、組織とビジネス・社会のコミュニケーションを検討することを目的とする。	2年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 後期 木曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月21日	出席率(減点法) インタビュー調査 レポート 30% 期末試験 70%
31		-	コミュニケーション学基礎演習B(研究法)	清宮 徹	【授業の到達目標、及び概要】 本講座では、社会科学系の専門科目やコミュニケーション関連の演習(ゼミ)に必要な研究法(調査・分析方法)を学ぶことを目的とする。とくにこの講座は、質的研究アプローチに焦点を当てる。はじめに、社会的な背景や自分の問題関心を明確にして、何を探求したいか十分考え、研究トピックを定める。自分が日ごろ興味を持っている多様な問題(社会問題から人間関係上の問題を反省的に考察することが大事である。この思考過程が研究アプローチ全体を左右するので、この思考訓練に重点を置く。そして研究調査の目的を明確にして、リサーチクエスト(研究上の問いかけ)を構築する。そのうえで、適切な調査研究の工程を考える。	2年次以上	特になし	10人程度	2	週1回 前期 水曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	4月12日	出席率(減点法) インタビュー調査 レポート 30% 期末試験 70%
32		-	英語史A	久屋 孝夫	【授業の到達目標、及び概要】 英語の歴史1500年のうち前半の1000年の歴史を概観する。欧州大陸に居住していた話者数万の西ルマン語派のひとつだった言語が5世紀半ばにブリテン島に移住するようになって、エリサーを統治者として擁する国家を形成するようになるまでの、紆余曲折を学ぶ。中でも英語の性格を変えるきっかけになった大きなきっかけとして挙げられるのは、8世紀末から10世紀初めのバイキング(北ルマン語派古代ノルド語の使い手)の侵攻、および11世紀後半のノルマン(9世紀にフランスに定住して公国を作った元バイキングでノルマンフランス語の使い手)の支配である。バイキングは古代英語の語尾を水平化するのに貢献し、ノルマンは英語語彙のルマン的要素をフランス語化するのに成功した。その結果、起源的には同じながら、現代英語は現代ドイツ語とはかなり異なる屈折語尾の著しく少ない、かつラテン語の語彙を多く含む同義語の豊富な言語となった。	3年次以上	なし	5人	2	週1回 前期 水曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	4月12日	章ごとの提出要約課題と15週目「まとめ」の時間の小テストによる
33		-	英語史B	久屋 孝夫	【授業の到達目標、及び概要】 アメリカ英語の成長とグローバル英語の隆盛を欧米近現代史と近代英語の辿った足跡を通して学ぶ。イギリスが16世紀末以降、欧州における覇権争いに勝利していく中で、獲得されていった大英帝国の植民地とされた世界の多くの国々で支配者の言語として、また必要悪としての公用語として、多様な種類の英語が誕生する過程に焦点を当てる。また英国自身が、市民革命、産業革命、社会格差を経て近代化していく中で、さまざまな新たな表現を生み、変化していく様子を観察する。	3年次以上	なし	5人	2	週1回 後期 水曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	9月20日	章ごとの提出要約課題と15週目「まとめ」の時間の小テストによる
34		-	英語学研究A	久屋 孝夫	【授業の到達目標、及び概要】 regional dialects(地域によって異なる英語の姿); style/mode(対人関係や場面によって異なる英語の姿); sexist language(性差別と言語のつながり); words and representation(ことばは現実をどれだけ中立的に描写できるか)など社会言語学を中心とするトックを扱う。	3年次以上	なし	5人	2	週1回 前期 木曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	4月13日	トピックごとの提出課題と15週目「まとめ」の時間の小テストによる
35	-	英語学概論A	久屋 孝夫	【授業の到達目標】 英語をそれが使用される言語外の諸要素(社会、文化、歴史)との関連で考察し、情報交換役割以外の幅広い言語の機能についての基礎知識を得る。 【授業の概要】 トックを3領域にしり、それぞれのトックに関して5回ずつ講義していく。	2年次以上	なし	5人	2	週1回 前期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	4月10日	トピックごとの提出課題と15週目「まとめ」の時間の小テストによる	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
36	西南学院大学	-	言語学B	久屋 孝夫	【授業の到達目標】 「時空間軸に沿って眺める言語の創造性・柔軟性」変化(偏流)と変化型の普遍性について」と題して、英語と日本語を中心として、時間軸に沿った普遍的な言語変化現象に焦点化して分析する。言語変化はことばが生きている証拠であり、それゆえに「言語の偏流(drift)には方向性がある。一定の方向に動く個人的変異だけが偏流を具現化する。それはあたかも入江のなかの一定の波の動きだけが潮流の輪郭を示すのに似ている。」(エドワード・サア)。 【授業の概要】 トピックは以下の4点。1) 統語変化[文法化]現象grammaticalisationを視る【1回目～4回目】、2) 意味変化現象[変化の型]を視る【5回目～8回目】、3) 音韻変化現象[変化の型]を視る【9回目～11回目】、4) 語彙化[lexicalisation/ 語創造 coinage of notions/ words]現象を視る【12回目～15回目】	3年次以上	なし	5人	2	週1回 後期 月曜3時限目 (13:00～14:30) 90分×15回	4月2日	9月25日	トピックごとの提出課題と15週目「まとめ」の時間の小テストによる
37		-	ことば学入門	藤本滋之	【授業の到達目標】 毎日「無意識」のうちに使っている「ことば」の性質を「意識」し科学する。 【授業の概要】 毎日無意識のうちに使っていることばを意識して眺めると興味深い規則的な性質が多く観察される。それを英語と日本語の具体例を比較しながら考察する。	1年次以上	なし	制限なし	2	週1回 前期 木曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×15回	4月2日	4月13日	8月3日
38		-	英語学概論B	藤本滋之	【授業の到達目標】 英語学の主要4分野である音韻論(phonology)、形態論(morphology)、統語論(syntax)、意味論(semantics)のうち、統語論の基礎を学ぶ。 【授業の概要】 統語論の分野の基礎となる事項を概説する。	2年次以上	なし	制限なし	2	週1回 後期 月曜3時限目 (13:00～14:30) 90分×15回	4月2日	9月25日	1月29日
39		-	英語学研究C	藤本滋之	【授業の到達目標】 統語論の基礎を学び、文の構造の意識と文の構成素(constituent)を移動するという感覚を習得する。 【授業の概要】 統語論(syntax)の基本を解説した英語による文献を読み解説する。	3年次以上	なし	制限なし	2	週1回 後期 木曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×15回	4月2日	9月21日	1月25日
40		-	対人コミュニケーション論	宮原 哲	【授業の到達目標、及び概要】 「日本的」コミュニケーションについて理論的、および実践的授業を構築する。日本の大多数の企業が新入社員に求める最重要能力を「コミュニケーション力」と掲げている。また、多様化社会で活躍できる「グローバル人材」が今後求められるが、これらの能力が具体的に何を指すのかは明らかにされていない。この授業ではさまざまな社会的状況(家庭・学校・友人関係・企業・病院・メディア・政治・観光・異文化交流など)での人間関係を築き、維持、発展させ、同時に自分の目的を達成するために必要なコミュニケーション・コンピテンスについて学び、実践できる能力の習得を目指す。	3年次以上	なし	10人程度	4	週2回 後期 火曜3時限目 (13:30～15:00) 木曜2時限目 (11:10～12:40) 90分×30回	4月2日	9月19日	成績はテスト(40%)、発表(40%)、レポート(20%)で評価する。
41	-	フランス語基礎会話(1)	J. L. アズラ	【授業の到達目標】 本科目の目的は、フランス語を使って口頭で自己表現ができるようになることである。 この授業は前期に週に2回、全30回行われる。「Conversations dans la classe BASIQUE」という教科書を使用する。これは初級レベルのフランス語学習者が会話を学ぶためのもので、各課は会話のテーマ(趣味、最近の出来事など)、会話に必要な語彙、文型、会話のコツで構成されている。 【授業の概要】 授業では、履修者全員が日常的な話題の会話をフランス語らしい仕方で行って行く。授業は大きく二部で構成される。 (1) 会話の準備: その日の会話のテーマに必要な新出語彙と文型の導入及び練習 (2) 会話練習と会話テスト: 学んだことを使って会話する 以上の他に、会話を行うのに必要な基礎的なフランス語力を習得する目的で、語彙や文章構造などの小テストも受ける。	1年次以上	なし	特に無し	4	週2回 前期 火曜3時限目 (13:30～15:00) 水曜1時限目 (9:00～10:30) 90分×30回	4月2日	4月11日	出席点、平常点(会話テスト、語彙などのテスト)。期末テストは行わない。	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
42	西南学院大学	-	フランス語基礎会話II(1)	J. L. アズラ	<p>【授業の到達目標】 本科目の目標は、日常生活場面で初級レベルのフランス語を使えるようになることである。学期を通して、履修生はいくつかの日常的フランス語コミュニケーション場面でのフランス語使用の経験を得る。この経験は将来、フランス語を使用する履修者の役に立つ。</p> <p>【授業の概要】 履修生は、以下のリストから5つのテーマを選択する。家庭、学校、観光、買い物、レストラン、郵便局、パーティでの出会い、お金に関わるトラブル、グループ内のトラブル、就職活動、職場、ゲーム遊び。 選択したテーマごとに、4人1組の8~10組に分かれてロールプレイを行う。各組でシナリオを書き、5~8分のロールプレイ劇をクラスで発表する。他のグループの学生のために、フリップ式の「字幕」(学期の最初は日本語、後にフランス語)を用意し、劇の上演中に見せる。 発表の際は、相互評価を行う。 ロールプレイは、実生活で起こりそうな内容、フランス語コミュニケーションらしい文化的要素、感情表現、ユーモアなどを意識して作成する。 フランス語で寸劇を作ることにより、話す能力だけでなく、書く能力、発音などの総合的な言語能力、演技力、記憶力などを要求される。 寸劇は即興でなく、用意したシナリオを暗記して演じる。本科目の内容や語彙は初級レベルであるが、将来仕事や旅行でフランス語を話す機会があれば、ここで学んだ土台を発展させることができる。</p>	1年次以上	なし	特に無し	2	週1回 後期 火曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	9月19日	40%:個人の出席、活動参加 30%:チームの成果(授業担当者の評価) 30%:チームの成果(授業学生による相互評価)
43		-	フランス語コミュニケーション集中演習I	J. L. アズラ	<p>【授業の到達目標、及び概要】 この授業は、主に3つのフランス語スキルを伸ばすことを目的としている。 ・メールや手紙を書く ・短いストーリーを書く ・作文やレポートを書く 各テーマでは、まず、型(modele)を理解した後、基礎的な練習を行い、応用練習で実際の手紙やレポートを書く。</p>	2年次以上	なし	特に無し	4	週2回 前期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 火曜2時限目 (11:40~12:40)	4月2日	4月10日	出席点、平常点(小テスト、小論文)。期末テストは行わない。
44		-	フランス語コミュニケーション演習IB	J. L. アズラ	<p>【授業の到達目標、及び概要】 この授業は、主に3つのフランス語スキルを伸ばすことを目的としている。 ・メールや手紙を書く ・短いストーリーを書く ・作文やレポートを書く 各テーマでは、まず、型(modele)を理解した後、基礎的な練習を行い、応用練習で実際のメールやレポートを書く。</p>	2年次以上	なし	特に無し	2	週1回 後期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 90分×15回	4月2日	9月25日	出席点、平常点。期末テストは行わない。
45		-	メディア・フランス語	J. L. アズラ	<p>【授業の到達目標】 本科目では、履修生はフランス語を使用して、メディア業界の状況設定でシミュレーションを行う。ここでメディアフランス語を使用した経験は、履修生が今後フランス語メディアに触れる際に役立つ。</p> <p>【授業の概要】 履修生は、学期を通して、以下の2種類の状況設定でシミュレーションを行う。 ①マーケティング:フランス人の若者を顧客ターゲットに想定した商品を企画し、フランス人留学生を対象に市場調査を行う。 ②ジャーナリズム:フランスに関するテーマをひとつ取り上げ、フランス語で記事を書き、クラスで発表を行う。 作業は、チームで行う。各メンバーは、各シミュレーションのすべての作業に参加する。作業ごとに責任者を置き、全員が何らかの作業の責任者を務める(チームリーダー、データ収集責任者、執筆責任者、デザイン・レイアウト責任者など)。チーム作業はフランス語で行うこともある。 作業を通して、履修生は仕事の段取りの仕方(目標に向かって計画を立て効率的に実行すること)を学ぶことができる。責任感、締切を守ること、チームで質の高い結果を追求することなど。</p>	3年次以上	なし	特に無し	2	週1回 後期 水曜1時限目 (9:00~10:30) 90分×15回	4月2日	9月25日	40%:個人の出席、活動参加 30%:チームの企画、広告、記事、発表など(授業担当者の評価) 30%:チームの企画、広告、記事、発表など(授業学生による相互評価)
46		-	フランス語アトリエ(9)	J. L. アズラ	<p>【授業の到達目標、及び概要】 この授業の目的は、中級レベルのフランス語の文章を読みながら、フランス社会・文化について知ることである。文章のテーマは、学校・教育システム、政治、仕事・雇用、宗教、カップル・家族構成などである。授業はフランス語と日本語を使って進められる。教材はフランス語であるが、履修生は日本語で発表や発言をしてもよい。この授業で学ぶ内容は、ヨーロッパの他の国について学んだり、考えたりする際にも役立つ。</p>	3年次以上	なし	特に無し	2	週1回 後期 水曜1時限目 (9:00~10:30) 90分×15回	4月2日	9月20日	出席点、平常点(小テスト)

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
47	西南学院大学	-	西洋文学A(1)	武末 祐子	<p>【授業の到達目標】 イメージimageの力 ―文学と芸術の領域から― 皆さんは、生きていくうえで「イメージを持つ」ことは大切だと思いますか。たとえば、英語やフランス語を学習するのに、あなた方は何らかのイメージを持って学習していますか。ネイティブと話しているイメージを持つとよいのでしょうか。あるいはそのようなイメージなど必要なく、ただ黙々と学習に打ち込めばよいと考えますか。</p> <p>フィギュアスケーターは、4回転ジャンプのフィニッシュのイメージを持たずに、ジャンプしているのでしょうか。画家は、どのような絵にしたいかイメージを持たずに描いているのでしょうか。作家は、どのような目的も持たずに黙々と書いているのでしょうか。これらは、心的なイメージといえるかもしれません。</p> <p>これに対して、一つの石や花は、見ている人にどのようなイメージを喚起するののか。一枚の絵は、見ている人全員に同じイメージを与えるのでしょうか。一冊の本は、読者に同じ効果をもたらしているのでしょうか。これらは、現実の物体が一人ひとりの人間に引き起こす多様なイメージの効果といえるかもしれません。</p> <p>しかし、画家は常に自分が思っている絵を描けるわけではありません。自分がよいと思うと思わざるとにかかわらず、見ている人は、一枚の絵から様々なイメージを受け取るはずですから。作家が伝えようとするイメージが必ずしも読者に伝わっているわけではない。時代が異なればますます受容効果は異なるのです。世界はイメージ一つで変わるかもしれません。</p> <p>また、私たちは、一度も経験したことがないことをどのようにイメージできるのか。非体験者は、被爆者や被災者やテロ被害者と同じイメージを共有することができるのか。できないなら、そのような人とつながるにはどうしたらよいのか。隣の人と異なる世界をもつ私たちは、メタ世界でしかつながらないのではないのか。</p> <p>この講義では、そのようなイメージのもつ多様な力について受講生の考察が深まり、受講後には多くの人と豊かなつながりが持てることをめざす。</p> <p>理論的には、ガストン・バシユールのイメージの現象学を基礎とするが、具体的な作品についての考察には、ことば、文学、絵画、版画、建築などの領域からアプローチする。</p> <p>【授業の概要】 授業は3部門より構成される。講義部門で、授業担当者がギリシア神話、17、18世紀のヨーロッパの建築や絵画や版画などを取り上げ、さらにフランス19世紀文学、20世紀の芸術まで様々な作品を紹介しつつ解説する。学生部門では、講義を聴講した学生さんたちの質問に回答し、またそのコメントを紹介する。鑑賞部門では、講義のあと、映像鑑賞(webサイトやDVDなど)を行い、イメージの多様な効果を味わってもらいたいと思う。</p>	1年次以上	特になし	10人	2	週1回 前期 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	4月11日	成績は、授業への積極的参加(出席カードの裏に質問や感想を書くと)と期末レポートの総合評価とする。
48	西南学院大学	-	フランス食文化研究	武末 祐子	<p>【授業の到達目標】 フランス料理は、2010年にユネスコ世界遺産の無形文化財に登録された。食の芸術(L'art du bien manger et du bien boire)といわれるフランス料理について昔と今、食材と産地、越境する技術といった視点を意識しながら食の異文化を学ぶ。農業国であり、美食の国であるフランスは、食材の豊かさや食卓の美を併せ持つ。人はなぜ、美味しく食べようとするのか。なぜ人をもてなそうとするのか。食文化の歴史と現在を理解しながら、フランスと地中海の国々の食文化の豊かさや食の知識を得ることを目指す。</p> <p>【授業の概要】 この授業は、3つの部門からなる。(1)フランス料理、フランス菓子などに関わる人々に、ゲストティーチャーとして来てもらい、講義をしていただく。(2)受講する学生さんに国内・海外を問わず食に関する発表をしていただく。(3)講義担当者がヨーロッパとフランスの食文化の歴史を紹介する。この構成は、日本におけるフランス食文化の担い手であるプロの方々、学生さんの目線で捉える食文化の面白さ、食の国フランスの大きな歴史的流れ、という多角的視点による食のコミュニケーションといってもよい。フランスの食文化を身近に感じ、日本の食文化との融合も楽しむ。</p>	2年次以上	特になし	10人	2	週1回 後期 金曜2時限目 (10:40~12:10) 90分×15回	4月2日	9月15日	成績は、授業への積極的参加(出席カードの裏に質問や感想を書くと)と期末レポートの総合評価とする。
49	西南学院大学	-	情報処理応用IE(51)	田中謙一郎	<p>【授業の到達目標、及び概要】 RやSPSSを用いてデータ分析の基本を説明し、情報処理センターで実習を行う。</p>	1年次以上	特になし	10人	2	週1回 前期 金曜2時限目 (10:40~12:10) 90分×16回	4月2日	4月14日	成績は、クイズ、提出された課題、主体的な授業への参加状況によって評価する。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
50	西南学院大学	-	演習Ⅰ(6): 浜浜地域の活性化の座学と実践	小出 秀雄	<p>【授業の到達目標、及び概要】 本演習では、地域活性化に関する最近の文献を輪読し研究する【座学】を行う一方、福岡市西区・浜浜地域を具体的な研究フィールドとして、同地域の方々やゼミ外・学外の学生有志とともに地域活性化を【実践】する。 【座学】では、商店街活性化・地方創生の実態を解説したテキストを輪読するとともに、3～4名のチームによる実践報告を披露し合うことによって、現在の地域が抱える課題を理解し対策を講じるのに必要な考察力、およびそれをほかの人にわかりやすく伝え、課題に取り組む姿勢を養う。教員・受講生・学外者間の対話を通じて、有意義な議論の仕方や発表・司会の進め方、レポートの作成方法などを修得する。 【実践】では、西南学院大学教育インキュベートプログラム「浜浜西南大学まち」(2015年度後期～2018年度前期)の取組主体として、浜浜商店街の「M'sコミュニティ」(エムズコミュニティ、浜浜商店会連合会・あこめっこ・西南学院大学の協働交流施設)を拠点に、地域活性化イベントの企画・運営を日常的に行い、社会・地域を将来リードするための姿勢と知恵を養う。また、M'sコミュニティにて適宜、公開研究発表会を開催する。 〔テキスト〕辻井啓作著『なぜ繁栄している商店街は1%しかないのか』(阪急コミュニケーションズ、2013年)／竹本昌史著『地方創生まちづくり大事典』(国書刊行会、2016年、部分的に使用)</p>	すべての学部生 (所属学部、学年は問わない)	地域活性化の方策とともに学び、実践したい人の履修を歓迎する。 この域学連携の情報は、Facebook等を利用して常時発信している < https://www.facebook.com/meinoseinan/ >。	5人程度	4	週1回 通年 木曜2時限目 (11:10～12:40) 90分×30回 ほか、課外での活動もあり	4月2日	4月13日	平常点とレポートの内容に基づいて評価する。 その内訳は、平常点70%、レポート30%とする。
51		-	政治学原論	鵜飼 健史	<p>【授業の到達目標】 政治学原論のテーマと方法論を、政治学史の展開と結びつけながら理解すること。現代デモクラシーの機能・構造に関する基礎知識を習得し、それに対する分析アプローチと基準を考察できること。 【授業の概要】政治過程・制度の概要およびメカニズムを学び、それらと現代社会とのつながりを分析する。分析対象としての人間行動に注目しながら、政治社会の作動に関するアプローチとその成果を学ぶ。分析対象が有する「政治的」な性質を、静態的な公的制度だけではなく、権力と公共性との関係で理解する。 ③準備学習等についての具体的な指示:レジュメについてはMoodleにアップするので、各自初回までに準備しておくこと。詳しい授業内容はオンラインのシラバスを参照のこと。</p>	2年以上	特になし	10人	4	週2回 前期 月曜4時限目 (14:40～16:10) 水曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×30回	4月2日	4月10日	平常点(20)、中間試験(30)、期末試験(50)
52		-	国際民事手続法	多田 望	<p>【授業の到達目標、及び概要】 契約違反をした外国の会社に対して損害賠償の訴えを日本の裁判所で提起するときには、(1)この国際的な民事紛争について日本の裁判所は裁判することができるか(国際裁判管轄権の問題)、(2)この外国の会社への訴状の送達や外国に住んでいる証人の尋問はどのようにすればできるか(国際司法共助の問題)、(3)この外国の会社が逆に、契約違反はしていないとの訴えを外国の裁判所で提起したらどうなるか(国際訴訟競合の問題)、といった特別な問題が日本の裁判所のなかで発生します。このような問題に取り組むのが国際民事手続法で、国際的な民事事件を扱うという意味では国際私法や国際取引法と関係し、また国家の裁判権が国際的に及ぶ範囲という意味では国際法とも関係します。この授業では、これらの法との関係についても意識し、最近ニュースなどで出てくる国境を越えた子の連れ去りの問題(ハーグ子奪取条約)や国際商事仲裁についても学びます。民事訴訟法や条約の条文を正確に理解して、これらの問題に正しく答えることができるようになることを目標にします。</p>	3年以上	特になし	10人	2	週1回 前期 火曜2時限目 (11:10～12:40) 90分×15回	4月2日	4月11日	成績は、期末試験によって評価しますが(小テストや中間テストも期末試験の結果に加味します)。
53	-	国際取引法	多田 望	<p>【授業の到達目標、及び概要】 国際取引の基本である自動車・農産物などの貿易・輸出入に関する法や商慣習を、国際取引の実際にあわせて勉強します。また、国際的な知的財産取引やインフラ輸出、プロジェクト・ファイナンスなど、最先端のトピックも取り上げ、ダイナミックな展開のある授業にします。これらの理解は、輸出入を行っているメーカーや商社、海運会社はもちろん、銀行や保険会社の外国為替業務など、さらには税関の職務や国際開発・協力を携わるうえで役立つ知識の習得につながります。国際取引法に関する専門用語を適切に理解し、それを用いて、国際取引法の諸問題に対する自分の見解を正しく示すことができるようになることを目標にします。</p>	3年以上	特になし	10人	2	週1回 前期 木曜2時限目 (11:10～12:40) 90分×15回	4月2日	4月13日	成績は、期末試験によって評価しますが(小テストや中間テストも期末試験の結果に加味します)。	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
54		-	国際取引法発展	多田 望	【授業の到達目標、及び概要】 国際取引法が取り扱う、インコタームズ、国連国際物品売買契約条約(CISG)、国際海上物品運送法、国際貨物保険、信用状統一規則(UCP600)、国際生産物責任、国際代理店・販売店契約、為替リスクのヘッジ、国際金融取引、ユーロ・ローン、シンジケート・ローン、国際技術移転、知的財産権の国際的侵害、インフラ輸出、プロジェクト・ファイナンス、外国人の労働問題などについて、発展的な勉強を行います。授業では、基本的な知識を前提に、国際取引裁判例に関する事例問題や、新聞に掲載された国際取引トピックの分析・検討を中心とします。輸出入を行っているメーカーや商社、海運会社はもちろん、銀行や保険会社の外国為替業務など、さらには税関の職務や国際開発・協力を携わるうえで役立つ知識の習得につながります。国際取引法に関する専門用語の適切な理解を確実なものとし、それを用いて、国際取引法の諸問題の発展的な理解を身につけ、さらには、これらに対する自分の見解を正しく示すことができるようになることを目標とします。	3年以上	国際取引法を受講していることが望ましい	10人	2	週1回 後期 火曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月19日	成績は、期末試験によって評価します(小テストや中間テストも期末試験の結果に加味します)。
55		-	国際関係私法概論	多田 望	【授業の到達目標、及び概要】 この講義は、国際取引や国際結婚など、国際化した私たちの生活から生じる様々な法的問題の解決を目的とする国際私法、国際民事手続法および国際取引法の3つを概説し、その基本知識を身につけることを目標とします。この講義の内容をマスターすれば、(1)国際私法における準拠法決定の基本プロセス、(2)国際民事手続法における国際裁判管轄権の基本枠組み、(3)国際物品売買取引の基本的な流れが身につきます。これらは、3年以上以降の「国際私法(総論・家族法)」、「国際私法II(財産法)」、「国際民事手続法」、「国際取引法」、「国際取引法発展」をスムーズに理解するための基盤になり、皆さんの目の前に国際関係私法の世界のとびらが開きます。	2年以上	特になし	10人	2	週1回 後期 水曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月20日	成績は、期末試験によって評価します(小テストや中間テストも期末試験の結果に加味します)。
56	西南学院大学	-	国際協力論	野田 順康	【授業の到達目標、及び概要】 本講義では、第一に政府開発援助、技術協力の方法、参加型開発等の国際協力の仕組みを理解する。第二に国際協力の仕組みを通じて食糧安全保障や環境問題等の地球規模の課題にどの様に取り組んでいくかを勉強すると共に、自分自身の今後の関わり方について議論・討論する。	2年以上	国際協力及び英語に関心を有する者(授業は英語で行う)。	10人	2	週1回 前期 金曜3時限目 (13:30~14:30) 90分×15回	4月2日	4月14日	成績は、授業への出席状況、学習状況等を加味しつつレポート(50点)、テスト(50点)によって評価する。
57		-	国際開発論	野田 順康	【授業の到達目標、及び概要】 本講義では、国際開発論の経緯及び開発をめぐる様々な考え方を理解した上で、経済開発及び社会開発の意義、また人口爆発と都市化や環境問題などの地球規模の課題について学ぶ。さらに、国連のミレニアム開発目標や持続可能な開発目標の全体像を学習する。国際開発の基本的な考え方を理解することを目的とする。	2年以上	国際開発及び英語に関心を有する者(授業の前半は英語で行う)。	10人	2	週1回 前期 水曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	4月12日	成績は、授業への出席状況、学習状況等を加味しつつレポート(50点)、テスト(50点)によって評価する。
58		-	国際関係史	山本健	【授業の到達目標】 われわれが生きているこの世界は、どのような形で成り立っているのだろうか。今の世界が今の世界になっているのは、歴史的な結果である。だとすれば、現在を理解するためには、過去を知ることが不可欠ということになる。本講義では、世界の歴史を、国際社会の変容という観点から理解する事を目標とする。そして歴史の大きな変化の流れの中で現在を理解し、未来を展望してもらう事がこの講義のねらいである。単に昔のことを知るのではなく、今を知るための歴史を学ぼう。 【授業の概要】 本講義では、外交を中心とした国際社会の変容を歴史的に概観する。とくに、国際社会における原則や制度がどのように生成され変化していったのかという点に注目しながら、現在の国際社会が構築される過程や現代国際社会の特徴を理解する。またそのような変化をもたらすきっかけとなった戦争がどのように起こり、戦後にどのような秩序が構築されたのかという点にも注目する。講義は、大きく前半と後半に分かれる。前半では、ヨーロッパを中心とした国際社会の生成と変容を中心に話す。後半は、20世紀の国際関係の歴史を詳しく論じる。特に、第一次世界大戦、第二次世界大戦という二つの大戦争の後、冷戦と呼ばれる時代が始まり、われわれが生きている現在は、その冷戦が終わった後の時代だという歴史観を身につけてもらいたい。	2年以上	特になし	制限なし	4	週2回 後期 月曜3時限目 (13:00~14:30) 木曜3時限目 (13:30~15:00) 90分×30回	4月2日	9月21日	中間レポート(30点)と、論述形式の期末試験(70点)で評価します。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
59		-	国際政治学	山本 健	<p>【授業の到達目標】</p> <p>世界は、あるいは日本を取り巻く東アジアの国際情勢は今後どうなっていくのだろうか。多くの人が関心を持つ問題であろう。本講義は、時事問題を解説する授業ではない、むしろそこからは少し距離を置きつつ、国際政治学の様々な理論や思想を学ぶことを通じて、世界の見方を身につけることがこの授業の目的である。</p> <p>国際政治は、そして世界は、どのように理解することができるのだろうか。国際政治学の先人たちは、この大きな問題に取り組み、様々な見方を提起してきた。本講義は、その様々な見方＝理論を中心に、国際政治や戦争と平和について考えていく。</p> <p>様々な見方があるということは、国際政治(学)には、一つの確固たる理論や法則が存在するわけではない、ということ意味する。様々な理論が存在する背景には、その背景に思想的な違いが存在すると同時に、世界そのものも変化してきているという事実が存在する。国際政治学は第一次世界大戦後に生まれ、主にアメリカとヨーロッパにおいて発展した比較的新しい学問であるが、歴史的变化の中で、理論も変化・発展してきた。それゆえ本講義では、国際政治学の先人たちによる知的格闘を、歴史的变化の中で理解することを目指す。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>国際政治学という学問がカバーする範囲は広い。それゆえ、本講義では戦争と平和、そして安全保障という問題をテーマの中心に据えて議論する。講義は第一部と第二部に分けておこなう。第一部では、国際政治学の二大潮流であるリアリズムとリベラリズムの様々な基礎理論と思想的背景について論じる。第二部では、冷戦後のアクチュアルな問題を国際政治の理論的観点から説明する。</p>	2年次以上	特になし	制限なし	4	週2回 前期 月曜3時限目 (13:00～14:30) 木曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×30回	4月2日	4月10日	中間レポート(30点)と、論述形式の期末試験(70点)で評価します。
60	西南学院大学	-	国際関係論	山本 健	<p>【授業の到達目標】</p> <p>本講義は、国際関係の視点から今日の世界を理解することを目的とする。本講義の狙いは、国際関係に関するニュースや新聞記事を読み解くための基礎知識や知的体力を学生諸君に身につけてもらうことにある。この講義によって、国際政治経済的な観点から、グローバル化の基本的な知識を獲得することを目指す。また歴史的観点から、今日の世界を理解する視点を学ぶ。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>本講義は通年科目であり、前期と後期の二部構成となっている。まず前期では、グローバリゼーションについて学ぶ。今日の世界の特徴は、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて、すさまじい速度で移動していることにある。その際、国境とは「国家」を前提とした制度であることが重要である。国際社会は、国家を前提とした社会であり、国際関係とは狭くは国家と国家の関係のことである。しかし今日の世界を理解するためには、ヒト・モノ・カネ・情報が国境を越えて移動すること、すなわちグローバル化や、国家という枠を超えて地球規模で起こっている環境問題などが、国家間関係やわれわれの生活にとってどのような意味を持つのかを考えなければならない。</p> <p>後期では、冷戦について学ぶ。今日の国際関係の基本的な形は、第二次世界大戦後の冷戦時代において形作られたものである。それゆえ今を知るためには、冷戦を理解し、冷戦が終焉した後、何が変わったのかを理解する必要がある。冷戦とグローバリゼーションを学ぶことで、今日の、そしてこれからの国際関係を展望する基礎を固めることが本講義の課題である。</p>	1年次以上	特になし	制限なし	4	週1回 通年 火曜3時限目 (13:30～15:00) 90分×30回	4月2日	4月12日	前期と後期の期末試験で評価します。
61		-	社会心理学	柳澤 さおり	<p>【授業の到達目標】</p> <p>社会心理学は、社会における個人や集団の行動を、その個人や集団が置かれた状況との相互影響から理解しようとする心理学の分野である。本講義では、具体的な事例や実験例、学生が事前に準備してきた課題の内容を基に、社会心理学の基礎知識を獲得することを目指す。</p> <p>到達目標は以下の通りである。</p> <p>(1) 社会心理学の基礎的な用語や理論について理解し、説明できる。</p> <p>(2) 社会心理学に関わる実験や調査の結果を示した図や表が意味するものを読み取り、社会心理学の用語や理論に基づいて説明できる。</p> <p>(3) 自分の体験や社会の出来事に関わる因果関係を、社会心理学の用語や理論を用いて説明できる。</p> <p>【授業の概要】</p> <p>授業では、各テーマの基本的な知識や考え方を講義する。事前に指定していた課題について発表を求めることもある。</p>	2年次以上	特になし等	10人	2	週1回 前期 金曜3時限目 (13:00～14:30) 90分×15回	4月2日	4月14日	成績は、期末試験(70点、テキストやノート等の持ち込み不可)、提出課題の成績(30点)による。単位取得は、10回以上の出席を条件とする。

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
62	西南学院大学	-	実用ドイツ語A	M. マンケ	【授業の到達目標、及び概要】 本科目では、中級レベルを目指す学習者を対象にする。初級ドイツ語の文法学習を終えた段階でワン・ステップ・アップをめざして、ドイツ語圏の文化・社会をテーマとし、ドイツ語学習をとおして文化・社会に対する理解をも深める。ドイツ語4技能(話す・聞く・書く・読む)を鍛える教科書に沿って進む。 毎回、辞書持参の授業出席。授業前、a) 次回の教科書とMoodle資料の該当箇所の準備。b) CD・MP3の聞き取り。授業後、a) 学習した文法・単語・句を覚えること、b) 次回の小テスト準備。	2年次以上	初級ドイツ語の文法学習を終えていること	5人程度	2	週1回 前期 木曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	4月13日	成績は、平常点及び末試験による。その内訳は、期末試験(70%)および平常点(課題、発表、30%)とする。
63		-	実用ドイツ語B	M. マンケ	【授業の到達目標、及び概要】 本科目では、初級ドイツ語の文法学習を終えた段階でワン・ステップ・アップをめざして、文化や社会のテーマを扱うテキストでドイツ語圏の理解を助けるドイツ語の学習を目標とし、各授業で4技能(話す・聞く・書く・読む)を鍛える教科書に沿って進む。ドイツ語圏の文化に関するコンテンツでドイツ語を学ぶ。またドイツ語学習をとおしてドイツ文化・社会に対する理解をも深める。	2年次以上	初級ドイツ語の文法学習を終えていること	5人程度	2	週1回 後期 木曜2時限目 (11:10~12:40) 90分×15回	4月2日	9月21日	成績は、平常点及び末試験による。その内訳は、期末試験(70%)および平常点(課題、発表、30%)とする。
64		-	キリスト教人間学B(1)	M. マンケ	【授業の到達目標、及び概要】 21世紀もまた、有史以来の人類史と同様、各地で起こる戦争や紛争、テロ事件が起こり、人が殺され、殺しへと追いやられる世紀として始まっている。それらの暴力行為にはどの原因があるか、またどのようにして暴力に応えたら良いかということについて、意見が分かれている。その中でも暴力と憎しみに誘導してしまったことにも、「目には目を、歯には歯を」といった暴力と憎しみに対して暴力と憎しみで応えることにも、「宗教」というものに原因があるという声が続いて絶たない。しかし本講義では、近・現代にも平和を実現しようとしてきたキリスト教信者の努力をたどっていく。キリスト教信者の言行には、時代や文化、教派を超えて、暴力と憎しみに対する抵抗も、平和と愛の追求も、常にあった。本講義は、このキリスト教という宗教の本来の姿と言える平和づくりを具体例をもって確かめていくことを目標とし、キリスト教の原点である『聖書』の記述を参考にしながら、平和な共生を目指す宗教の「本来の姿」を検討し、人間社会に生きるときの暴力や戦争の諸問題に対してどんな解決方法が聖書で提示されているか、取り上げる多くのキリスト者一人の聖書に動かされたノン・クリスチャンが生きてきたか、ということ事例でさぐる。	3年次以上	特に無し	5人程度	2	週1回 後期 木曜3限 (13:30~15:00) 90分×15回	4月2日	9月21日	平常点(コメント10%、小テスト20%)および期末試験(70%)に基づいて行う。
65	-	哲学(1)	森田 園	【授業の到達目標】 西洋哲学の歴史を学ぶことを通して、哲学という思考の営みがいかなるものだったのかを学び、自ら自身で考えはじめる手掛かりを得ること。 【講義の概要】 ものごとを根源的に問う哲学という営みが、どのように個々の哲学者によって担われてきたのか、具体的なテキスト読解にできるかぎりに基づきながら解説する。 受講者は、哲学の諸問題が、いかなる術語によって表現され、その術語がさまざまなかたちに翻訳されつつ、継承されているかに注意し、哲学が伝統を重視すると同時に自らの時代と対決しようとしていることを感得してほしい。	1年次以上	特に無し	特に無し	4	週1回 通年 火曜2時限 (11:10~12:40) 90分×30回	4月2日	4月11日	原則的に全30回の出席とコメントカードの提出をもって単位認定の前提とする。そのうえで成績は前期・後期の筆記試験によって評価する。場合によっては筆記試験以外に講義期間中に中間テストを行う。	
66	-	哲学(2)	森田 園	【授業の到達目標】 西洋哲学の歴史を学ぶことを通して、哲学という思考の営みがいかなるものだったのかを学び、自ら自身で考えはじめる手掛かりを得ること。 【講義の概要】 ものごとを根源的に問う哲学という営みが、どのように個々の哲学者によって担われてきたのか、具体的なテキスト読解にできるかぎりに基づきながら解説する。 受講者は、哲学の諸問題が、いかなる術語によって表現され、その術語がさまざまなかたちに翻訳されつつ、継承されているかに注意し、哲学が伝統を重視すると同時に自らの時代と対決しようとしていることを感得してほしい。	1年次以上	特に無し	特に無し	4	週1回 通年 火曜3限 (13:30~15:00) 90分×30回	4月2日	4月11日	原則的に全30回の出席とコメントカードの提出をもって単位認定の前提とする。そのうえで成績は前期・後期の筆記試験によって評価する。場合によっては筆記試験以外に講義期間中に中間テストを行う。	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
67	西南学院大学	-	美学・芸術学A	森田 圃	【授業の到達目標】 近代美学の根幹をなすカントとシラーの教説を学び、美学という学問がいかんして成立し、何を問題にしたのかを理解すること。 【授業の概要】 カントとシラーの美学を詳説する。	2年次以上	特に無し	特に無し	2	週1回 前期 金曜4限 (14:40～15:10) 90分×15回	4月2日	4月14日	原則的にすべての講義(全15回)に出席し、コメントカードを提出することを単位認定の前提とする。筆記試験によって評価する。筆記試験に加えて、講義期間中に少なくとも一回の課題(レポート)の提出を求める。
68		-	美学・芸術学B	森田 圃	【授業の到達目標】 (悲劇的なものの美学) ヘーゲル以降の美学を悲劇的なものの概念を中心に追うことによって、近代においてなぜこれほど悲劇解釈が重要な意味をもったのかを明らかにすることを試みる。 【授業の概要】 十九世紀から二十世紀初頭の美学ないし芸術学における悲劇的なものの解釈を手掛かりに、近代人の自己理解にとってなぜギリシア悲劇ないし近代悲劇への問いが必要不可欠であったのかを本講義では明らかにしたい。	2年次以上	特に無し	特に無し	2	週1回 後期 金曜4限 (14:40～15:10) 90分×15回	4月2日	4月14日	原則的にすべての講義(全15回)に出席し、コメントカードを提出することを単位認定の前提とする。筆記試験によって評価する。筆記試験に加えて、講義期間中に少なくとも一回の課題(レポート)の提出を求める。
69	中村学園大学	-	音楽の世界	原田 大志	世界の様々な音楽と、その音楽が引き起こす事象が、人間の営みとどのように結びついているか考える。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月3日	4月12日	H29.7.28～ H29.8.4 ※授業中に実施の場合もあり
70		-	九州経済事情	片山 礼二郎	九州の経済が今、どんな状況にあるのか？九州の成長産業はなにか？、九州の産業の現状と課題はなにか？、また、昨今、注目されている「地方創生」の観点から、九州で増やしていくべき「しごと」はなにか？そして、福岡が発展拡大してきた要因はなにか？という疑問に答える講義です。 学生のみならず、日本経済の中で九州がどれほどの地位にあり、どのような発展をたどってきたか、またその中で、どのような九州の企業が活躍してきたか、意外とわからないのではないのでしょうか？すべての疑問に答えられるわけではありませんが、そのような九州経済や九州の企業に対する問題意識に対する「気づき」を与える講義にしたいと考えています。 この講義では、そんな身近な経済に関する疑問を、現在の新聞報道や過去のニュース映像をきっかけに、学生のみならずとやりとりしながら、講義を進め、みなさんの九州経済、福岡経済に関する理解を深め、マーケットの将来性を判断するための視点について学び、身の回りの経済を見る目を養うことを狙っています。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 木曜5時限 (16:35～18:05) 90分×15回	4月3日	4月6日	H29.7.28～ H29.8.4 ※授業中に実施の場合もあり
71		-	マスコミ論	田代 俊一郎	21世紀のマスコミは新聞、テレビ、ラジオ、出版などに加え、ITメディアが巨大化している。まさに現代人は情報の氾濫、洪水の中に身を置いている。劇的に変化する世界、社会環境の中、多様な情報を受け手としてだけでなく、自立した創造的な生き方に向かう情報を活用していくか。メディアリテラシーの一環としてマスコミという「怪物」を一緒に考える。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月3日	4月12日	H29.7.28～ H29.8.4 ※授業中に実施の場合もあり
72		-	食の科学	水元 芳	私たちは食物を摂取し、生きていくために必要な栄養素やエネルギーを得ている。近年、食物には体の健康を増進し、疾病を予防する効果があることが科学的データにより証明されてきた。これらの科学的データを読み解くことは、どのような「食」が健康に良いのか、また悪いのかを知ることにつながる。 本講義では、「食」について科学的データを紹介し、どのような食生活が健康に寄与するのか自分自身の食生活を振り返り、病気になるににくい健康的な食生活を形成するための方策を考え、学んでいく。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 月曜1時限 (9:00～10:30) 90分×15回	4月3日	4月10日	H29.7.28～ H29.8.4 ※授業中に実施の場合もあり

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
73	中村学園大学	-	体の科学	小田 隆弘	自分の体についての様々な疑問(近視、音痴、乗り物酔い、味覚と食欲、鼻血、汗と熱中症、冷え性、メタボ、便秘、ストレスほか)について考えることにより、それらを司る器官の役割や障害についての理解を深める。人体のしくみに関するDVD視聴も併用し、一層の理解を図る。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月12日	H29.7.28~ H29.8.4 ※授業中に実施の場合もあり
74		-	色彩の科学	手嶋 康則	色彩の基礎知識を習得しながら3学科の特徴を考慮した授業構成となっており、幅広い色彩分野の知識を学び、色に関する興味をより一層高めてもらおうことをねらいとしている。さらに本科目を受講することで色彩検定の資格取得の一助となることを目的としている。	1年次以上	特になし	若干人	2	前学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	4月10日	H29.7.28~ H29.8.4 ※授業中に実施の場合もあり
75		-	アートワールド	蒲池 昌江	本科目は、美術領域における知識を幅広く身につけるとともに、美術作品の鑑賞において言語表現能力やコミュニケーション能力を培いながら美的思考を養うことをねらいとしている。 アート(美術)は、現代社会を文化的で豊かに生きる上で欠かせないものである。アート作品の持つ多彩な表現は、私たちに多様な解釈や新たな価値観をもたらし、社会を生きていくための広範な視野を拓かせてくれるものである。本講座では、西洋美術、日本美術、アジア美術における表現の歴史や社会的背景を概観し、個々の作品についてディスカッション形式やグループワークで読み解いていく。さらに、それらの表現を通して現代社会においてアートがなす役割や可能性について考察する。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月25日	H30.1.23~ H30.1.31 ※授業中に実施の場合もあり
76		-	食の博多学	松隈 美紀	食の博多学の授業は、現在あなたが生活をしている博多(広い意味での福岡市内)で食べられている四季のふるさとの味、郷土料理などの歴史や言葉の意味、作り方や分量などを知ることで昔の人の食に対する考え方や、感謝の気持ち、地元の食材の知識や大切に使う心を養い、博多の食の魅力を自分の言葉で人に伝えられるようになることをテーマとする。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月25日	H30.1.23~ H30.1.31 ※授業中に実施の場合もあり
77		-	アジア食文化事情	三成 由美 他	日本における食文化のあり方を世界的視野で見直し、東西の食文化の違いを理解し、また日本が属しているアジアの風土や食文化の特色を考え、各国、特に東アジア各国の食文化の独自性、共通性について理解を深める。更に今後の発展の可能性を考察する。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 水曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月20日	H30.1.23~ H30.1.31 ※授業中に実施の場合もあり
78		-	知的財産論	後藤 道子	今日、知的財産に対する意識の高まりやメディアの多様化、デジタル化、ネットワーク化の進展に伴い、知的財産を法的に保護する知的財産制度に関する理解の必要性が増してきています。知的財産には技術的アイデア、ブランドマーク、物品のデザイン、音楽・アニメなどが含まれ、保護対象によって権利の保護法が異なります。本講では、主に、意匠法、商標法と著作権法を取り上げ、知的財産に対する法的保護について基礎的な知識を学びつつ、関連する最新のニュースや裁判例など具体的な事例(「パクリ」や「模倣」事件等)について法的な考え方を理解し、知的財産の創造、保護及び活用に関する問題についてインターネット上での問題等も含めて多角的な視点から対応する力を養うことを目標とします。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 木曜5時限 (16:35~18:05) 90分×15回	4月3日	9月14日	H30.1.23~ H30.1.31 ※授業中に実施の場合もあり
79		-	博多学	占部 賢志	古来から博多は九州の中心的な役割を果たしてきた地域であり、また、東アジアに開かれた玄関口として発展を続け、多くの歴史遺産、豊かな郷土文化が今日も受け継がれている。そこで当科目では、歴史、文化、産業、国際交流、生活、年中行事など学際的なテーマを設け、博多を中心に関係地域も視野に入れて人との関わり探求する。したがって、郷土再発見の目標に加えて、卒業後の地域社会に生きるうえでの教養科目としても位置づける。	1年次以上	特になし	若干人	2	後学期 月曜1時限 (9:00~10:30) 90分×15回	4月3日	9月25日	H30.1.23~ H30.1.31 ※授業中に実施の場合もあり
80	福岡歯科大学	-	コミュニケーション・トレーニング	町田 弘幸	創造性・協調性・多様性理解など、円滑なコミュニケーションに必要ないくつかの方法を、実践を通して理解し、身に付ける。	1年次以上	特になし	若干人(各大学10人以内)	1	土曜日昼間 9-10月 240分(3コマ)×4日	7月中旬	9月~10月	試験なし
81		-	福博の歴史と文化探訪	永井 淳	この科目は我々が現在生活しているこの福岡・博多の地域について考え、知ることを目的とした講座である。福博の歴史と文化、自然などをさまざまな角度から考え、学んでいきたい。この講座で学んだことを通じて、現在から将来にわたって自分を取り巻く地域や社会とどのように関わり、貢献出来るのかについて考察する。	1年次以上	特になし	若干人(各大学10人以内)	1	・講義80分×3回 4/21.4/28.6/5の5限 (16:10~17:30) ・現地見学土曜×4回 (4/22は必ず出席すること。加えて、5/13、20、27の3回中2回以上は必ず出席すること)	4月14日	4月21日	試験なし

No.	開講 大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
82	福岡大学	-	中国文学A	甲斐 勝二	唐代の詩文を当時の文学批評を通して考える。 (詩文の訳詩作業をとまう)	1年次以上	特になし	若干人	2	【前期】 金曜日夜2時限 (19:40~21:10)	4月3日	4月14日	7月28日 夜2限
83		-	中国文学B	甲斐 勝二	宋代の詩人 范成大の四時田園雜興を読む。 (詩文の訳詩作業をとまう)	1年次以上	特になし	若干人	2	【後期】 金曜日夜2時限 (19:40~21:10)	4月3日	9月15日	【H30】 1月26日 夜2限
84		-	社会学A (社会学の基礎—社会を考察しよう)	本多 康生	社会学とは、人間が集合的に織りなす社会を考察の対象とする学問である。本講義では、現代の様々な社会事象を分析し理解するために、社会学の理論や物の見方を、家族・宗教・労働・地域社会・医療・障害・教育・メディア・現代文化・環境問題・ジェンダーなどのテーマに即して解説し、社会の構造や仕組みに対する基本的認識を深める手ほどきを行う。講義では、視聴覚資料を積極的に活用し、受講者それぞれが現代社会の諸問題に関する社会的理解や合意形成の手掛かりを得ることを目指す。	1年次以上	特になし	若干人	2	【前期】 火曜日夜2時限 (19:40~21:10)	4月3日	4月11日	8月1日 夜2限
85		-	社会学B (現代社会学—社会問題に学ぶ)	本多 康生	社会学とは、人間が集合的に織りなす社会を考察の対象とする学問である。本講義では、現代の様々な社会事象を分析し理解するために、社会学の理論や物の見方を、具体的な社会問題(少子高齢社会、ニート、自殺、アダルトチルドレン、犯罪被害、いじめ、東日本大震災と復興、エスニシティ、障害と差別、医療化、薬害、環境問題、リスク社会、社会的排除など)に即して解説し、社会の構造や仕組みに対する基本的認識を深める手ほどきを行う。講義では、ドキュメンタリー・映画などの視聴覚資料を積極的に活用し、受講者それぞれが現代社会の諸問題に関する社会的理解や合意形成の手掛かりを得ることを目指す。	1年次以上	特になし	若干人	2	【後期】 月曜日夜2時限 (19:40~21:10)	4月3日	9月25日	【H30】 1月22日 夜2限
86		-	物理科学入門 (映像により学ぶ物理学Ⅰ)	寺田 貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、アルキメデスの原理、摩擦力、力の分解、真空、水圧、この原理、ニュートンの運動の第一法則、放物運動、相対運動、運動量保存則、力学的エネルギー保存則、回転運動と角運動量保存則などである。	1年次以上	特になし	若干人	2	【前期】 火曜日4時限 (14:40~16:10)	4月3日	4月11日	7月28日 1限
87		-	物理の世界 (映像による学ぶ物理学Ⅱ)	寺田 貢	物理現象に関する映像を視聴し、その現象に関する法則や原理についてわかりやすく解説する。内容としては、音速、光の性質:直進性、レンズの性質、共振現象、反射、熱と気体の性質、太陽エネルギー、物質の溶解度、静電気、電池、電磁石、電気の発生などである。	1年次以上	特になし	若干人	2	【後期】 火曜日4時限 (14:40~16:10)	4月3日	9月19日	【H30】 1月22日 1限
88		-	国際化と日本 (ヨーロッパを知る—その多様性と統一)	辻部 大介 他	専門分野を異にする7名の教員が、おのおの1~2回の講義を担当し、ドイツ語および中欧語圏(4名・計7回)、フランス語圏(2名・計4回)、イタリア語圏(1名・計2回)の各言語圏にまたがる現代ヨーロッパの社会や文化の諸相を、学生の知的欲求にうったえうるさまざまな個別的事例に基づいて講じます。それらの事例がなぜ、どのように生じているかを理解せしめるために、近現代を中心とした歴史についての言及も随時行います。個々の事例の例示にあたっては、日本との比較・対照をうながし、日本の社会や文化の現状に対する問いかけを動機づけます。	1年次以上	特になし	若干名	2	【前期】 月曜日4時限 (14:40~16:10)	4月3日	4月10日	7月31日 5限
89		-	日本語表現法Ⅰ	山縣 浩	皆さんは、分かりやすい文章が書けるという自信を持っているだろうか、また書かれたものが表現に即して正確に読み取れていると思っているだろうか。本講義は、書き言葉による表現に関する事項のうち、表現すること、表現されたものの捉え方につき、具体的な実践や事例に基づいて、それぞれの能力を高めることを目標とする。表現することでは、不定期に課す課題(文章の修正・作成など)に基づいて、分かりやすい文章を書く際に注意すべき事項を学ぶ。表現されたものの捉え方では、文章論・文体論の基礎的な方法を通して文芸作品を客観的に捉える観点を学ぶ。特に前期Ⅰは文章・文体の普遍的な側面に注目する。即ち、文章が文章として存在する以上必ず存在する言語事象について、その具体相が表現論的どのような意味を持つかなどを概説する。ただ、文章・文体研究の方法を身に付けることは、間接的ながら、書くことの能力を高めることにもつながる。従って、本講義は二つの内容からなるが、最終的には、自分が分かっていることを初めてそれを読む人に分かるように筋道を立てて書く能力を高めることを目標とする。	2年次以上	特になし	3人	2	【前期】 水曜日1時限 (9:00~10:30)	4月3日	4月12日	7月31日 2限

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
90	福岡大学	-	日本語表現法Ⅱ	山縣 浩	皆さんは、分かりやすい文章が書けるという自信を持っているだろうか、また書かれたものが表現に即して正確に読み取れていると思っているだろうか。本講義は、書き言葉による表現に関する事項のうち、表現すること、表現されたものの捉え方につき、具体的な実践や事例に基づいて、それぞれの能力を高めることを目標とする。表現することでは、不定期に課す課題(文章の修正・作成など)に基づいて、分かりやすい文章を書く際に注意すべき事項を学ぶ。表現されたものの捉え方では、文章論・文体論の基礎的な方法を通して文芸作品を客観的に捉える観点を学ぶ。特に後期Ⅱは文章・文体において書き手の個性の表れやすい修辭法に注目する。即ち、修辭法は、文章・文体にとって必須のものだけでなく、多分に書き手の好みによって選択される。従って、どのような種類の修辭法をどのような対象に対してどのように用いるかという点に書き手の個性が表れる。このような修辭法への理解を深めることによって、書かれたものがより正確に読み取れるようになるとともに、表現者として伝えたい事柄を効果的に表現することができるようになる。この点で文章・文体研究の方法を身に付けることは、間接的ながら、書くことの能力を高めることにつながる。従って、本講義は二つの内容からなるが、最終的には、自分が分かっていることを初めてそれを読む人に分かるように筋道を立てて書く能力を高めることを目標とする。	2年次以上	特になし	3人	2	【後期】 水曜日1時限 (9:00～10:30)	4月3日	9月20日	【H30】 1月24日 2限
91		-	フランス語学概論A	川島 浩一郎	フランス語を通して言語学の基本概念について理解し、説明ができるようになるための授業です。	3年次以上	特になし	10人	2	【前期】 月曜日1時限 (9:00～10:30)	4月3日	4月10日	8月3日 6限
92		-	フランス語学概論B	川島 浩一郎	フランス語を通して言語学の基本概念について理解し、説明ができるようになるための授業です。	3年次以上	特になし	10人	2	【後期】 月曜日1時限 (9:00～10:30)	4月3日	9月25日	【H30】 1月27日(土) 6限
93		-	ドイツ文学特講A	堺 雅志	ドイツの散文トーマス・マン『ヴェニスに死す』精読ー 本講義では、第一にジャンルという観点から小説の「誕生」から現在までの歴史を扱う。第二に、小説を芸術と主張した急先鋒、トーマス・マンの代表作『ヴェニスに死す』を精読することによって、小説とは芸術かという問いを考察してゆく。ドイツ近代以降の作家たちの小説とも比較することによって、小説におけることばの位相について考察してみよう。	3年次以上	特になし	若干人	2	【前期】 木曜日1時限 (9:00～10:30)	4月3日	4月13日	7月28日(金) 1限
94		-	ドイツ文学特講B	堺 雅志	「風のちらさぬそのうちに、花をお折りなされたばかり」ードイツ文学翻訳考ー日本の近代化の道筋は、ドイツの影響を抜きには語れない。近代日本は、制度や科学技術のみを取り入れたのではなく、それらを生み出した精神的風土と文化をも学ぼうとした。その姿勢が現在の日本を支え、日本の豊かな翻訳文化を生み出してきた。それではドイツ文化はどのように日本に移植されてきたのか。文学を通じてである。江戸時代後期以来続けられてきた先人の功しを丹念に辿りながら、本講義では日本のドイツ文化受容を俯瞰し、じっさいに哲学や文学の作品の原文と翻訳とを照らし合わせながら、語彙レベルから文化レベルにいたるまで翻訳を巡る諸問題を検討する。	3年次以上	特になし	若干人	2	【後期】 木曜日1時限 (9:00～10:30)	4月3日	9月14日	【H30】 1月22日 1限
95		-	人間関係論A	渡邊 淳一	組織における「人間関係」の重要性を認識し、より良い「人間関係」を構築することをテーマに、学外の専門の方々によるリレー講義です。キーワードは「人を育てる」と「コミュニケーション」です。	3年次以上	特になし	50人	2	【前期】 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月3日	4月12日	試験なし
96		-	人間関係論B	渡邊 淳一	現在の日本の企業で「人的資源管理」がどのように行われているかをテーマに、学外の専門の方々によるリレー講義です。キーワードは「人を育てる」と「モチベーション」です。	3年次以上	特になし	50人	2	【後期】 水曜日2時限 (10:40～12:10)	4月3日	9月20日	試験なし
97	-	マクロ経済分析	高瀬 光夫	本講の目的は、既にマクロ経済学を学んだ人を対象に、政策事例を通じて経済学を現実にもどのように適用されているかを学び、経済を見る視野を広げることにあります。本講では特に経済成長、景気、財政、金融、国際経済の5つの分野について、幅広く問題を取り上げます。また議論はありますが、最新の研究成果を紹介しながら、日本国内ではまだ知られていない新しい視点での問題分析例を知ることができます。論文やレポート、さらに新しい研究テーマを見出そうとしている人に特に役に立つでしょう。	3年次以上	入門レベルのマクロ経済学の知識を持っていることを前提に授業を行います。	若干人	4	【後期】 火曜日2時限 (10:40～12:10) 木曜日2時限 (10:40～12:10) 【週2コマ開講科目】	4月3日	9月14日	【H30】 1月26日 4限	

No.	開講大学	開講部局 開講場所	科目名	担当教員	内容	対象者	履修条件	受入可能人数	単位	開講形態等 集中/土日開講	申込締切等	授業 開始日	試験日
98	共同開講科目	中村学園大学	博多学	選考中	博多を博多湾や水事情および災害などの「自然」、対外交流、文化普及などの「歴史」、食文化、外来文化などの「文化」の面から考察する。	学部1年次以上	特になし ※博多学の現地見学においては、見学場所により多少の人数調整を行う可能性があります。	上限150人(各大学30人を目安とする)	1	集中講義 (約13時間講義 +実地見学)	所属大学の 教務担当窓口 にお問い合わせ ください。	【実地見学】 4月22日 5月13日 5月20日 5月27日 のいずれか1日 【集中講義】 8月17日 8月23日 の2日間	試験なし